

平成25年第4回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	生活の不憫さを感じることは少なく、心に余裕を感じる部分も見えています。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	養殖漁業の施設の復旧は済み、今秋より生産開始の段階に入っているが、漁港のかさあげ工事が終わっていない為、漁港内に作業場の建設が出来ず、生産活動に大きな影響があり、インフラ整備が非常に遅れている。市内には、ダンプ・トラックが300台くらい入っているのが高台移転の造成工事やガレキ処理のため、車等の往来が多いため、復興が感じられるが、被災者の住居の確保はまだ進んでおらず、不安を感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	年代により較差が大きくなっているようです。仮設住宅では力のある人がどんどん出て行って、いわゆる弱者が残ってきている状況です。自治会活動もむずかしい状態です。災害公営住宅でも同じことが繰り返されるのではないかと心配です。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	道路(復興道路)は進んでいない。農用地は進んでいる。海岸(岸壁)等は進んでいない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	流失した家を再建し、仮設から自宅にもどってこれる人たちがでてきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	本人が求めている給与の職や住まいではないのかもしれないが、現在の最善の暮らしをしていると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	自宅を新築して、仮設住宅から引っ越し人が増えています。金銭的には大変かもしれませんが、安心して生活できているのではないかと思います。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	自ら行動している方は、金融機関の支援・各種補助制度を積極的に活用し、住宅再建に取り組む等、生活再生を実現している。長年住んだ土地への愛着、土地収用時の価格面の問題等、特殊な事由による方々の再建が進んでいない。特殊事由を除いた方々の生活回復は確実に実現している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	毎日の生活は、個々に迷惑掛けないよう成り立っていると思う。少し心にも余裕が出来てるようだ。お琴・押し花等習い事にも出かけ、だんだん本気になって新品を買ってよるこんでいます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	私の住んでいた街には次々と家を立てる人が増えてきています。仮設に住んでいる人は、復興住宅・集団移転を待つ人が多く、整備が進まず、不安を感じている人がいます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	公営住宅の一部が完成し、入居が始まっている。被災した商店等が新店舗を建設している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	住環境は、仮設住宅では、2年8ヶ月で皆さんはあと3年間は仮設住まいと見てます。また、予定地のある方は仮設を出る方、残る方には見えてます高台と公営住宅の完成かと思えます。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	災害公営住宅も3ヶ所の建築が終了し、入居が始まっている。一方、自宅を建築する方が増加している。最近特に目につく様になった。反面、土地の高騰が目立つ。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	野田村では、被災地跡を整備して区画し直し、公園の造成に取り組んでいるから
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	町営住宅に入居されたり、自宅再建された家が多数建築されてきました。工場も建設され、徐々にではあるが生活が回復されていると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	まだ仮設住宅に入居している方は多いですが、生活としては安定してきているように思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	生活そのものは、住宅の問題を除けば、回復しているように思います。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設住宅にくらす方の半分が新築の家を建てたため。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	経済力のある人は、ほぼ震災前に近い生活をしている反面、そうでない人は、厳しい生活をしている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	被災者は住宅再建資金など十分とは言えないかもしれないが、日常生活については回復してきているものと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	個人で家を新築する方々、その他の皆さん、高台移転により工事が始まっています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	被災したみなさんの顔の表情がやわらかくなってきたと感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	職種や雇用形態をみて仕事を選ぶ余裕があるように感じる。被災直後のように何であれ働きたいという差し迫った求職者が見られなくなった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	自力で住宅を再建、また中古住宅購入などで、5世帯ほどが転居したこと。これは復興の証である。ただし、中古住宅購入を含めて自力再建ができない方が多くいる。 速やかな災害復興公営住宅建設が、求められている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	被災者の自力再建が、市内で目につくようになってきている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	気持ちは、復興住宅か持家か決まったと思うので、やや進んだのかなあ、と思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	自立再建や補修等で仮設住宅から自立した人達が増えた。ウニ漁、定置網漁等が再開され、海の幸も食卓にならぶようになった。働きからの収入も安定してきている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	被災者が家を建て仮設住宅から出て来ている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	久慈市は他に比べて被災者が少なかったため、市の方から積極的に住宅再建の相談にのってくれました。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	復興住宅の他に一戸建ての家の建築現場が目立つようになってきた。その反面、手つかずの場所は荒れているので早期に対策や計画をたてて欲しい。

やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	仮設に入居されている方々の中に、少しずつ住宅が新築され引越をする方が出てきている。しかし、目途がたたず、いまだ仮設生活の方がほとんどある。（おそらく仮設を出た方は数%では？） 高齢者の中には、家族との同居生活に問題が生じたり、子供だけでなく、高齢者も家族が亡くなり、独居となり、親せきが介護をするなど、困難な事例が多く残っている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	高台移転の整備工事が進んでいる。新築の家も増えてきた。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	被災された方々は、家族や親戚のもとに移り住んだり、町営住宅やアパートに住んだりしており、概ね地公体としてやるべき事はやっている状態と認識している。 そういった意味で、完全にもとに戻るといふ事迄は行っていないが、確実に回復していると捉えている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	高台移転が決まったり、家を新築予定の連絡を頂いた。希望と不安が入りまじり、表情に明るさは見えない。土地探しにも大変ご苦労された様だった。 求人が増えてきた様に感じます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	公営住宅も一部完成して入居もある。高台移転の整地が進んでいる。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	ここ最近ではニュースなどでも、被災者のことはあまりとりあげられなくなってきた。なんとなく、自分の身近では、回復した様子はみえないように感じる。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	被災前のように日常生活を送ることができるようになった。買物もできるし、交通手段も落ち着いてきた（バスの利用）。 しかし、生活に余裕はなく、将来の見通しが持てない大人が多い。その日一日は暮らすことができるけれども、不安な気持ちでいるようだ。それが弱者である子ども達に影響を及ぼしている。小学校児童の中に、心が不安定な人が多い。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	住宅の再建等が増えてきている。 復興公営住宅も計画ができて、建設中のものもあるが、現実問題として、入居できるのはまだまだ先だと思う。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	特に変化なし
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台移転整備などで木がなくなり、風のあたり方、雨水の流れがかわり、風水害のおそれがでてきているようだ。 はやめに対策を…。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	震災前の通りとまでは言えないが、ある程度不自由ない生活が出来ている人は増えたとは思いますが。自宅再建に関しては、資産がある人・ない人との温度差は感じられます。
どちらともいえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	臨時であっても就業者が少しは増加しているように感じる。
どちらともいえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	自力で住宅を再建できる人は、どんどん高台に土地を買って住宅が建てられているが、そうでない人たちは、集団移転や公営復興住宅の完成を待って再建する人がいて、被災者で較差ができていますので、回復はまだまだと思う。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設から復興住宅に移った人達もいて、一部では進んでいる感じはする。しかし一方で、被災前にペット（犬や猫等）を飼っていた人達は復興住宅には住めない為、次の住居に困り、悩んでいる。 仕事面では回復傾向にあるが、住居に関しては立地がなく、また、土地の高騰等の為、再建出来ない人達も多数いる。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	他市町村と比較して私の住んでいる所では、集団移転先が大規模2ヶ所と小規模2ヶ所の4ヶ所あり、小規模の1ヶ所は住宅も全て完成し住民も移り住んでいる。別の小規模造成地も完成し、居住地の抽選も終了、建築会社が基礎工事を開始し、回復傾向にあると感じる。 一方で、大規模造成地の造成工事業者が倒産、工事が一時中断し、回復の上げ潮ムードに水をさす事になり、被災者の方々に戸惑いを与える事となった。現在は新たな業者が決まり、工事も再開している話を聞き安心している。 全ての被災者の方々が住宅で年越しが出来る時が早く訪れる事を願います。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	経済力のある被災者は、他の地域に土地を買い、住宅を新築し移転している。彼らの生活は回復しているように見える。一方、経済力のとぼしい被災者は、今後の住居の行くすえに不安を感じており、生活はあまり回復していない。 よって、全体としてはどちらとも言えない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	3ヶ月単位で見れば回復を実感できる程の変化を感じない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設住宅なれが進み、出ていってからの生活が不安になる。早い復興住宅の完成、高台造成をねがう。 最近、仮設住宅において、市の臨時職員又は被災者以外及びその家族の入居があり、さらに無料で入居している状態が見られる。一般人と被災者の区別は？との住民からの声も聞こえてくるようになった。 基本、仮設住宅のあり方はどのようになっているのでしょうか。市の判断なのでしょう。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	生活は特に変りないようだが、公営住宅の工事や高台移転の土地の工事もすすんでいるのが目にみえている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	震災前から有する公有地の一部に災害公営住宅が若干建設され入居も始まるも、他に予定されている（公有地、私有地買上げ）災害公営住宅の建設及び被災した小・中学校の建設についての進捗状況が視えません。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	土地をさがして家を再建した人、再建しようとする人もいるが、かさ上げた土地に家を再建しようとする人は、再建のめどがたっていない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	住宅事情については、進んでいるようには思われない。赤前地区の新築には人が住み始めたようだ。 被災した建物が残っているが、撤去はどこが行うのだろうか？
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	自力再建する人達も増えてる一方、代替地や復興公営住宅などがまだまだ完成されず、自力で再建する人と出来ない人との温度差を感じる。 震災の話もあまり話さなくなったが、家のことを話す人も少なくなった気がする。 落ち着いたようにも見えるが、代替地や公営住宅が出来るまで待つしかない、というあきらめのような気持ちを感じる時もある。実際待つしかないのですが。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	本村では4ヶ所の移転地で造成工事が進んでいるが、必ずしも順調とは言えない。早く出来た移転地では公営住宅入居済みの住民もあるが、一方、造成工事がいつ迄に終るのか、計画ど通りに完工になるのか。 寒さに向かい不安だ。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	子どもにももちろん必要だが、大人にも心のケア、サポートが急務と感じる。前向きに進もうというエネルギーが全体として減ってきたようにも感じるから。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	仮設住宅から転居された方々が、けっこういるようだが、どのように生活の拠点をうつされたかは分からない。 校庭に仮設住宅があり、学校行事に招待したり、一緒に学習活動を行ったりしている。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	山を切りくずし、こんなところにも家が建つのだと思うことがあります。今なお仮設住宅でくらすざるをえない方々は、今後の生活に不安をいただいています。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	進んでいる人がいる一方、そうでない人もいます。最近になり、高台の土地を整備している状況が見られるが、そこから先、どの位で住居ができていくのか想像すると気が遠くなる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	多少回復した方々も一部見受けられますが、特に仮設住宅で暮らしている方々は殆ど回復にはほど遠いように思われる。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	事業者についてはかなり具体的に工場の新設・復旧が進んでいるが、個人の被災者は仮設住いのままなので「どちらともいえない」とした。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	自力で自宅を再建される方が居る一方、復興公営住宅の建設が遅々として進んでいない様感じます。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	職場の同僚や被災者からの意見をまとめてみると、回答のとおりである（回復度：やや回復した／進捗状況：どちらともいえない）。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	春に一部の公営住宅が完成。今年度末にも更に完成予定である。仮設住宅の息苦しい生活から開放される方々が増えるのはよいが、必ずしも生活実態が回復した訳ではない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私が生活している仮設住宅では、住宅を建築して出て行く方は少なく、70世帯以上が仮設暮らしを続けており、回復しているとは感じられない。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	基本的には8月の調査のときの回答と同じである。 5月の調査のときと変化があったのは次のとおりである。 1. 本自治会の仮設住宅から撤去した世帯が増え、10世帯となり、退去率が27%になった。 田老地区外に住宅を購入して移転したものである。 2. 5月のとき、発注していた漁船の完成が遅れていた船主は、現在、新造船で出漁している。しかしながら、漁港の防波場が完成していないため、船の係留に不安を持っているとのことである。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	個人の事情によって、回復した人も変わらない人もいます。家を再建した人は、以前の生活を回復したと言えるでしょうが、家を流されたまま仮設に住む人々は、まだまだ多くいると感じます。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	公営住宅は進んでいるが、住宅地は進んでいない
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	高台移転地の工事がストップしてしまい、また足ぶみ状態に戻った気がします。請負業者の関係だとは聞いているが、村の政策がかかった時期に重なるので、そのためかと思ってる人も多いようです。今後の見通しが不透明です。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	土地の区画整理事業の進捗状況について、時間を要している。理由は十分理解しているものの、建物再建が一部に限られていることから、実感としては、あまり進んでいないように感じられます。一方で、住宅については、自力再建を進めている方がいるので、進んでいないということではないと思われます。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村の住宅団地造成工事と県道野田平庭線の工事が目の前に見えるため
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	復興住宅への入居が進み、希望が出てきた。その一方で、仮設に取り残されるのは、金銭的・高齢・障害弱者？

あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設住宅を出て、自宅に移り住んでいる市民が少ないから。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	しばらく人出が少なめだった地域の祭りへ、今年はかなりの人出があった。暮らしに余裕が出てきたことの表れであるのとらえたい。ただ、住宅はまだ仮設のまま（北部地区は再建の動きが活発であるが…）。これでは生活が改善したとは、まだまだ言えない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	私たちが住んでいる高台移転の土地造成は全然手つかずの状態です。早く高台に住宅を建築し、安心して生活出来ることを願っています。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設住まいの方々の生活を考えると、苦しくなる。私自身、みなし仮設で暮らしているが、仮設住宅と同じ間取りで3人の生活はきゅうくつである。仮設住まいが長くなっている方々の生活しづらさを強く感じる。一日もはやい復興住宅への引っ越しを実現してほしい。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	公営住宅の建設が進み、回復していると思われるが、移転地の造成が遅れていて、住宅再建が始められないでいる。仮設住宅から転居して、やっと生活が回復したと言えると思う。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	前回の調査回答と同様になるが、住環境の整備は移転地の完成等わずかながらも進んでいる感じがする。ただし、時間が経つにつれ被災した住民と被災しない住民との感じ方に乖離がみられる。被災直後は全ての住民が同じ目線に立って感じていたと思う。今は、被災者とそうでない住民との隔たりが感じられる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	高台移転等、新たな生活場所が定まらない為、高齢者があきらめる様子が見える。他市町村や他地区への世帯の流出が増加し、移転後の町の形成に不安を感じている人が多い。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	道路の整備、高台の造成工事が全くなされていない。県、町は計画予定を発表しているが、気やすめでしかない。仮設住宅の延長がされたが、先行き不透明である。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	震災後の生活を維持しているだけのように感じる。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	鶴住居・片岸の区画整理着工について新聞に載っていました。これからスムーズに進んでほしいと思います。現段階では生活の回復度はあまり変化はないと感じます。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	ごく一部、個人の住宅建設工事が始まってはいるが、途中でストップ（中断）したり、スムーズに進んでいないような事を良く聞く。地元の本採用が少ないようで、不本意にも地元を離れざるをえない人も居る。基盤整備がまだまだで、事業量も、全然不足したままである為、雇用が一部業種に限られている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	復興住宅の遅れ、被災者の収入減等。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	住宅の建設が終わり、入居するまでは回復したとは思えない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	個人住宅の新築が数件始まったが、全体的には移転地の造成もおくれており元気がなく、先行き不安を訴える人が多く見受けられる。
回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	安定した生活を送っていると実感がない。仮設から家を建ててうつる人が出ているけど高台移転がすすんでいない。

回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	被災者が土地を購入しようと希望地を申し込んでいたが、未だ先が見えない。家を建てようと思っても、大工さんの数が足りなかったり、大きい施設などの建設が優先されたりすることがあり、住宅建設にかなりの時間がかかっている。また、災害住宅が不便な土地に建てられているため、お年寄りがいる家庭は、希望しにくい状況になっている。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	がれきは撤去され、工事の車は多く見かけますが、住宅や宅地の整備は目に見える程進んでいない様に感じる。
回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	大槌町中心地のかさ上げが進んでいない。また、仮設住宅入居者が依然として多い。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	震災当時は誰もが必ず元の場所に再建すると、強い意思を持っていましたが、復興整備が長引くにつれ、消費税の値上げ、建設業界は倍の値上がり、そして資材不足と、再建の望みは消えそうです。嵩上げが終われば、ここに帰り、本店舗を建てるのが夢ですが、何年先でしょうか？早く出来れば良いです。
回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	高台の整地造成が進んでいます。町の説明会では、高台の分譲について、今から希望をとり、住居の建設開始の目処は27年度からとのこと(早い地域は)。例えば土地が割り当てられ、建設までに何らかの理由で分譲された土地を(権利)放棄せざるを得ない状況がおきてもキャンセルはきかないという説明があったことに納得がいかない部分があります。高齢者の割合がたかい仮設住宅では、家をたて直す経済力はないと不安の声をきいています。住居再建にはまだ6～7年かかるという地域があるようです。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	震災以前が、経済的に活発・豊かな地域では無かったので、回復度合の判断は難しいが、最も身近な産業であった水産加工業が復活しないうちは、回復の実感はわからないと思う。復興途上での一時的な雇用はあくまでも一時的なものである。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	仕事があっても介護職、土木関係の仕事で、まだ働けるけど「今から体力勝負の仕事は厳しい」という40代～50代が多いような気がする。生活も公営住宅がまだできていない状況で、「この先どうなるのか」と未来を展望できない方が多いと思う。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	仮設住宅、みなし仮設から出る方が多くなっているとは聞きますが、実態はどうなのかわからないのが現状です。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	被災された企業の多くは、震災前の水準（売上、利益）に戻って来ている。
回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	被災前より景気がよくなっている。しかし、漁業者に見られるように過剰な支援により、ゆがみやひずみが出てきている。設備をしたが従事者がいない、販路が少ないなど、バランスが悪くなっている。はたして、被災前はどのような状態だったのか、認識をしないで設備を行なったところが多いと感じる。 2～3年後には被災前より景気は悪くなると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	水産業、様々なご支援を受け、船も100%でき、ウニ、アワビ漁も今年度は浜の方も大部活気づいて女性部の皆様元気ができました。
回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	「あまちゃん」ロケ地に関係する道路は、津波でかなりの痛手を受けたようでしたが、早急に立派な道路になりました。すごい観光客で、土風館他、商店街が活気にあふれていました。 あまちゃんのおかげで久慈市は良かったと思います。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	有効求人倍率は高く、各商業施設や住宅の建設ラッシュの影響により、当地域の経済は確実に回復している。被災前の8割程度までは復活している。また、大型の建設プロジェクトも具体化しつつあり、今後の地域経済復活に期待が持てる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	水産加工業は工場を再開し、本格稼働に近い水準まで回復しつつある。一方で、商店は依然として仮設店舗での営業を強いられている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	事業所は目に見える形で復旧している（工場等の復旧と人手不足の状況がある）。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	新しいお店が出来て、多くの人で混雑しているのを見ますし、回復していると思います。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	水産業関係、観光関係で活気を感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	建物の再建は進んでいますが、経済はあまり回復していない様に思います。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	震災当初は市内に買物する施設はなく、近隣の町で買物等をしていたが、徐々にガソリンスタンド・宿泊施設・商店等再開され、あまり不自由は感じなくなってきた
やや回復した	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	大型店舗等の建設予定がふえてきている。

やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	「回復度」については、正確には「回復した」と「やや回復した」の間です。 「進捗状況」について、震災前に行っていた経済活動は農業(水田)以外は大分進んでおります。ただ最近3ヵ月となると「やや進んでいる」というふうに感じます。でも、やる気のある方々は殆んど事業を再開しているのではないかと思います。問題は、仮設店舗での営業活動は再開したが、その後のことになると不安を持っているようです(事業資金の借り入れ弁済のことについて)。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	私の周りでも家を建て、もう何人もが引越して暮らしています。土地を探しても見つからず、焦る人も多くいます。(支援を受けられるうちに…)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	海岸線の岸壁工事が進み、また、新しい魚市場も完成し、水産業の回復が感じられます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	市場などや冷蔵施設などは急ピッチで出来上ってるように感じる。 スーパーなどに行っても魚貝類など豊富であるし、大型スーパー、ホームセンターなどが次々とオープンしたり、また、近々大型店が出来るとかうわさを耳にする。食品類は、かなり充実されていると思う。ただ、仮設の衣料品店などは、品ぞろえなどもきびしく(狭いため)客が近隣(宮古や釜石)の大型店にとられ、売上げもままならない感じである。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	漁協や個人定置網、ウニ漁、ガンバル漁業等の成果が出てきた。建設業・建築業は仕事がまわっている。再開した飲食店や理容店・美容院も順調そうだ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	ホテル・旅館も再開し、人の流れが目立つようになった。仮設商店街もみんなで協力し、集客に努めている。漁業関係も浜に活気が出ている様に思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	水産業、建設業は活気が感じられますが、内陸型産業(長期安定を計れるような誘致企業)も望みたいところです。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	漁業においては水揚げが昨年同期を上まわり好調に見え、農業も収穫量が例年並となっているが、米価が昨年より安いのが残念とのこと。 商業に関しては先行き不安のためか、特に被災者の皆さんの買控えが感じられる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	ウニの種苗生産、出荷量が確実に増えている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	3ヶ月前とくらべ、農地・アワビ養殖施設の建設が進んでいるため。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	今、漁港の整備をしてもらっている。早く元通りになってほしい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	港の整備は進んでいるがはかどらない。 津波前から使っていない被災した農地の整備が進んでいるが、何に使うのかな?
やや回復した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	宇部川地区ほ場整備事業に予算が計上され、現在測量(ほ場整備地区内)が行なわれている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	1年前からうわさのあった大型スーパーがようやく着工し、少しずつでも街が明るくなると思います。働く場所がないと人口も減ってくるので、もっと大きな企業がきて、盛んな街になってほしいです。

やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	近くの商店の売り上げも上がってきているように感じる。近くにスーパー、家電量販店、ドラッグストアなど新規店がどんどん建ってきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	やっと山林の宅地化が進み始めたように感じる。また、地域の商店にも活気を感じるようになってきている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	両親が自営している会社が被災したが仮設店舗で営業再開後、お陰様で注文が増えているので。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	新聞の広告、業者の出入りの増加、交通量の増加など。
やや回復した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	水産業の回復は他に比べて早く感じる。店頭に行っても海のものも多く並んでいるのを見ると回復を感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	いろいろな点で周囲の経済効果はあがっていると思われるが、来年・再来年も同じように続いていくかは疑問である。一過性の経済効果に頼るのではなく、長い目で見た地域経済の発展に取り組んでいくべきだと思う。例えば、地域産業の活性化、地元で根付く人材育成など。観光収入のみに頼ってはいけなと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	仕事はたくさん求人募集があるようで、職種を選ばなければ再就職できると思う。ただ、正規ではなくアルバイトや短期労働のようだが。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	夏が過ぎてから大型店舗やホテルなどが集まるような商業施設の工事が進んでいるように見える！ 更には、今までプレハブで商売をしていた人たちが、自分たちが今まで望んでいた場所で再び同じ商売ができる人たちが増えてきていて、活気づいてきているように感じる！
やや回復した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	建設・建築関連は忙しそうである。ウニ・わかめ・コンブなど、漁業関係も回復しつつあると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	医療や介護サービス費の免除等がなくなると負担は増すと思うが、延長される自治体もあるとのこと。差は出てくると思うが、雇用先も生まれてきており、やや回復してきていると感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	建設業は道路や住宅等で忙しそうである。水産関係ではアワビ漁のニュースもあり、良くなっているように感じます。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	震災前から少子高齢化がすすんでおり、地域経済回復は難しいと感じる。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	季節的に漁業関係が賑わっている話題がある頃なのに、あまり聞こえてこない。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	水産加工業や建設会社では、未だに人手不足で生産能力を十分生かす事が出来なくて困っている状況だ。 仮設店舗から新店舗に移ったり、新たに再開した自営業者がいる。また、現在、新築している店舗も目に付くようになった。しかし、従業員を募集しても応募者が少ないというミスマッチは未だある。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	企業の多くから言われることとして、「求人を出しても人がこない」ということ。 求職者の約2倍の求人数であることから、労働力不足になるくらい企業活動が活発化しているように思う。といっても、この3ヶ月間で捉えると、そう変化してはいない。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	大手スーパーの建設や水産・食品加工会社が工場を再建、再開し始め活気が出てきたが、働く人が不足している為工場がフル稼働できないと聞いた。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	土木、建設関係は被災前より復興関係の工事等で良くなったと感じますが、それ以外は特に実感できません。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	あまり変わっている様子が見受けられないと思います。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	ワカメ、ホタテガイの浅海養殖業が、復旧復興されてきた。カキ養殖も回復傾向にあり、来年度は本格的生産が予定されている。 悲願の山田町2箇所の魚市場の復興がなり、市場も活気を取り戻し、水産振興に明るい兆しが見えてきた。 しかし、漁業後継者が極端に激減し、生産力低下の現状にある。 大破壊された漁港や船揚場等の整備は、かなり遅れている。早期の復旧復興が望まれている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	全漁業者に磯漁に使う小舟が行き渡り、ウニ・アワビ漁に出漁し、浜にも少し元気が戻った様子も感じられた。口開けの時だけなのかなあ。 被災地海岸部より、高台・仮設生活者など内陸部での生活者が多くなり、目の届かなくなった海は密猟者に荒らされ、漁業者は本当に大変だ。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	養殖等（わかめ、ほたて等）出荷できるようになったがまだまだ十分な出荷量が確保までいっていない。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	夏にはウニ漁の口開けもあり、養殖ホタテも出荷できるようになり、確実に復興にむかっていることを感じる反面、”被災前と比べて”と聞かれるとどちらとも言えないと答えるしかありません。私達漁業者が回復したと感じるようになるまでには、まだまだ時間がかかると思います。でも確実に気持ちは前に向かっていて、被災前より良いものを作っていこうという気持ちは強くあります。まだまだ頑張ります。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設店舗はイベントなどがないと、人の出入りがまばらのようだ。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	再建や新たに参入して来た企業がある一方、かさ上げ工事などでまた移転しなければならない仮設店舗などは、移転費用や移転場所などの不安がある。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	地元だけの消費には限度あり。人を呼びこむための方策や消費地への販路拡大策を県や市町村でもっと積極的に取り組んで欲しい。そして、その成果等を、広報等で知らせて欲しい。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	地元で安心して働ける企業・事務所が増えないことには、人々は流出するだろう。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	観光面で活性化しているのではないかな。新しくホテルや大型家電店などもでき、経済の活性化を期待する。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	一戸建て住宅の建築ラッシュ。高台団地の造成工事の活発化で建設関係はとてもしそうである。 農業、水産業は、設備等の復旧がなされた。ただ、収入が伴って入ってきているわけではなく、これからの回復に向けて動きだしたといってもよいだろう。 建設ラッシュが終わった後は、以前より沈んだ経済になってしまうのではないかと心配である。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	契約切れになり、これからどうしようか分からないという話を聞きました。地元の経済は大型店でもっているような気がします。

どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	大きな商業施設や店舗は再建しているようであるが、大槌の町はまだまだのような気がする。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	豊間根にスーパーができたり、千徳大橋の開通などで人の流れが多くなりつつあるのではないかと思う。 磯鶏地区も大型店舗やホテルの建設が進んでいるが、どうなるか興味を持っている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	仕事を失ったままの人も周りにはいるので、あまり良くなっているとは感じない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	特に変化なし
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	一部の会社や事業所の活躍はニュースやテレビなどでよく見かけるが全体的には疑問が残る。復興道路の進み具合は目に見えるが、はたしてそれが地域経済の回復と見ていいのかよくわからない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	市場の完成等でやや進んだかとも思うが、生活している面においては、最近特に回復とかしているようには思えない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	アワビ、ウニ漁は出来ている。ウニ漁は以前と同じくらい口開があった。アワビ漁は、これからですが以前と同じ様になるといいと思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	近くには商店が増え、大型スーパーの建設予定もある。漁業(カキ・ホタテ等)も今年から復活している様子ではある。営業はしたものの、車時代であり、隣のスーパーに行き買物をしている。高齢者には不便なことも多いと思います。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	漁業・養殖は少しずつ回復している様に思いますが、採取・捕獲は資源が少ないためか不漁との声をききます。土木・建設関係は多忙そうです。人口が減少しているため、人手不足。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	私の住んでいる所では、鮭ふ化場も6月中旬に完成し、今年から採卵作業も再開予定となり来年には4年ぶりに稚魚の放流が可能となる事から漁業関係者には将来に向け明るい兆しが増えた一方で、鮑等の密漁が報道になる度に胸が痛む思いをしております。 鮑稚貝を生育する県の施設も津波の被害で、震災前の出荷量に戻れるのは、平成27年頃と聞きました。稚貝の放流後も3～4年生育に掛かります。今獲れている鮑は震災前に放流した稚貝が震災を乗り越え育った貴重な海の資源〔宝〕です。その宝を私利私欲の為に密漁する行為は、多くの漁業関係者の希望を奪う許されない行為だと思います。 密漁に関して今後、法的に罰則強化や取り締まり強化を早期に検討しないと、多くの漁師が失望感や嫌悪感に苛まれ海から離れる事にならないように期待します。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	漁業などは以前(震災前)のように戻ってきていると思うが、3ヶ月間といわれるとわからない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	工事関係者など、以前の宮古市より、他の地域の方が多くいらっしやるので、飲食店などは人が多い気がする。 本来の地元の経済がどこまで力を付けているのか、今ははかれない気がしている。 また、仮設店舗は少し苦戦しているようにもみえる。これから作られる街に地元の商店が建てられるように底力をつけるべく、取組が必要ではないかと感じている。

どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	仮設店舗の期限が近づいて来ており、グループ補助金を利用しての本設への移行が始まっているが、補助金の使い勝手の悪さもあり内情はかなり厳しいものと思われる。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	店舗、事業所を流出した方は、現在も殆んど仮の建物で業務を行っているが、経営内容（形態）は徐々に震災以前に近づきつつあるように見受けられる。また、水田等もかなり回復したように思う。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仮設での営業再開では事業規模に制約があり、本設のようにはいかないと感じます。本設への移行や起業もあまり進んでいないと思われまます。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	サンマ・鮭の水揚げも少なく、水産加工業も回復が進んでいないと感じられる。業種によって回復の度合いが違っている。建設関連の業者のみが進んでいるのでは。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	田老地区の土地区画整理事業の導入区域における土地利用方針と用途指定が示された中で、住宅は安全な高台に求めながら、店舗等は旧市街地の嵩上げ地を希望している事業主にとって、店舗等の本設場所の確保が困難なため、事業の本格的な復旧の妨げになっている。また、震災後、津波の浸水区域内で事業を再開した事業主は、土地区画整理事業の実施に伴う工事によって建物の解体を迫られることになり、移転先の確保や、再建・再開まで休業を強いられるなど、大きな課題を背負い、不安を抱えている。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	基盤整備がまだまだの状態なので、回復できる状態にはなっていないと思います。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	大規模な量販店が出店してきて、仮設店舗の経営が大変らしい。地域密着の町づくりをしてほしい。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	仕事をしているけど、いろいろな助成があり、本当の収入がわからない。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	景気が良いのは土木建築関係のみで、被災者の中での弱者（中高年層）や女性の収入源の勤務先が少なく、二極化が続いている。
あまり 回復していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	全ての事柄はリンクしていて、事業量が回復していない為、所得は回復とまではまだまだ言えない状況である。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	被災によって仕事をなくした方が多く、仕事につけたとしても、内容面と収入面で思い通りの仕事でない場合が見受けられ、格差が出ている。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	やはり水産業が立ち直らないことには経済の回復はない。海岸の整備、漁船の確保、水産加工場の建設等が目に見えてくれば、町が活気づくと思う。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	これから復興が加速していくとばかり思っていたが、村の政策も新しくなり、この先どうなっていくのだろうと不安です。もっと経済効果をねらった取り組みを考えていくべきだと思います。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	被災前の商店街とはほど遠いから。建設業の人たちは毎日忙しそうに働いているから。
あまり 回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	建物が多くなってきました。地域経済も努力の姿が見えますが、目を見張るほどには遠く、未だに国と県の限界すら感じます。
あまり 回復していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	地域経済はそれをけん引する産業に乏しいせいか他の地域で言われるほど改善しているとは思えない。1年ほど前までは震災復興に沸き立つ感もあったが、復興事業も一段落した現況では変化が見られない。復興事業により生活向上がみられる地域への流出が顕著になってきた感がある。そのせいか家族介護が難しく、施設への入所希望者が増加している。

あまり回復していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	震災後、回復が目に見えて進んだように見えてましたが、ここに来てストップしているように感じます。少し見放され始めたかな？と思ってました。
回復していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	予算の面では多額の援助がなされていると感じるが、実施の時点で有効に使われて来たのかは疑問である。どのようにすれば有効に使われたと感じるのかと問われれば、難題であるが、また進まなくなると思うが。
回復していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	私共の仮設長屋店舗は、皆さんと和やかに仕事をしています。ずうっとこのままでも良いねと、話が出る位です。この場所は、嵩上げを必要とするところで、別の場所に移動しますが、その都度、内装設備に資金を掛けなければならず、それが悩みです。
回復していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	ガソリン(燃料)等進んでいない、高騰している。求人案内を見ますと多いように見えるが(職種・求人・内容)限度・限界がある。復興事業一覧、内容とぼしい(説明不足)。
回復していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	大槌には観光協会がない。地元の経済力の弱さ…。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	購買活動する上で不便は全くありませんが、仮設店舗や店舗再開が出来ていない方など、どのような状況なのか聞こえてくることはありません。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び3ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	年齢別	地域	性別	自由記載（理由）
達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	従前より防潮堤が整備されており、3.11の津波も、実際に被害を防いでいる。よって、達成したとの回答とした。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	港湾工事を中心に、安全なまちづくりへの取り組みは確実に進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	復旧工事は進んでおり、光ファイバーを利用した防災ネットも工事が始まっている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	防潮堤などは進んでいると思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤等の工事はすでに始まり継続中であるが、工期が当初と同じか、不安を感じる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	10月までに計画していた工事が全て終了し、残すは沖防波堤と今後の要望だけだから。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	防災センターや屯所など施設整備が着実に進んでいるから。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸北部	男	防潮堤の工事は進んでいる。
達成した	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸北部	男	野田村前浜地区の防潮堤工事が進んでおります。
やや達成した	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	仮設住宅近くの高台が宅地造成されているから。
やや達成した	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	女	住宅地の整備・防潮堤の整備が進んでいる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	以前に比べ、川の堤防、防潮堤が少しずつだが、復旧されている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	防潮堤のだいたいの形が出来ていると思われる。復こう道路の早期完成に期待している。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤一つとってみても、様々な考え方があって、人命だけでなく砂浜の保護などにも配慮する必要があるため、進捗状況をもって評価することは難しいと思われます。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	浸水地域は、未だ道路（含歩道）の歪みや亀裂等が所に有る。また、側溝の排水不良で、雨が降るとすぐに道路が冠水し、生活に困っている。港湾に関しては防潮堤等の工事が目に付き、進んでいる様子がわかる。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	防潮堤の変化はあまり見られないように感じますが、道路の整備は進んでいると感じています。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	女	防波堤工事が進んでいる。海沿いのかさ上げ整備が、これからはじまる。
どちらともいえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	まだ、過程の中にあり、達成感はさほどない。

どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	女	スピードはともあれ着実に前進はしていると思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	どこに視点を置くかによっても大分違ってきますが、高台を見ると大分進んでいるように見えますが、国道45号線沿いの被災地を見る限り遅々として進んでおらず、津波警報発令時などどうなるのか懸念されます。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	山田漁港周辺は、海岸道路嵩上げ工事が進み、水産加工施設の建設も見られ、魚市場機能も充実してきた。しかし、海岸道路嵩上げ工事された周辺の環境復旧復興が遅々としている。 今、急ピッチで、土台基礎部分瓦礫の取り壊し除去が始まり、更地が多くなり、嵩上げ工事が緒についたばかりである。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	高台団地の造成工事がかなり進んで来たが、まだ建築できるところまでいっていない。住む所が決まらなければ復旧とまでは言えないし、復興にはほど遠い。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	かさ上げ工事がすすみ、魚市場・組合施設など建ってはきているが、防潮堤はまだまだなので、高潮などで冠水などがある。 壊れた防波堤、周りはまだ手つかず。
どちらとも いえない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	港湾、なかなか進んでいないように見える。町中(只越～大渡)、なかなか進んでいないように見える。鶴住居、小・中学校移転先、早期に…。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	ソフト面での防災無線や防災に関する緊急エリアメールなど、整備されてきたが、ハード面、土地のかさ上げ、防潮堤の整備などは、これからなのだろう。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	やはり、堤防が昔のまま。これを早く何とかして欲しい。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸北部	男	防災公園づくりが始まり、また、防潮堤工事も進んでいるところを見るにつけ、着実にまちづくりは進んでいると感じる。津波に対することとは別に、台風27号通過に関わる大雨により中心部で浸水寸前までになってしまった。様々な災害に対する備えが求められる。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	トラックの数が増えていますが…。少しずつでも変化があるのでしょうか？安全な町、今後の町が見えてきません。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	行政による計画や外部の意見(学者等)はあるようだが、工事は進んでいても、確実に進展しているとは思われない。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	テトラポットがたくさん並んでいたり、これから防潮堤の整備がはじまりそうな雰囲気は感じる。しかし、今また大津波がきたら、流されるだろうという不安はある。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤等、海岸の整備が目に見えて活動している。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	男	学校前の東西の道路に(やっと)街灯がついた(が、川沿いと、そこから下る道路はまだ暗いままである)。宮古道路の早期開通、鉄道の復旧をぜひお願いしたい。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	主要道以外は、舗装か継ぎ接ぎだったり、場所によっては全く手付かずの状態だったりして、運転中未だに「アッ!!」と思う時も多くあります。被災地域が広範囲だったり、優先順位等の兼ね合いもあるのでしょうか、復興のスピードというのは、都市部で同規模の震災があっても同じでしょうか？
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	特に変化なし

どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	最近の整備復興作業は順調に進んでいるように見える。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の建設が進み、整備はされてきていると思う。 避難訓練もよく聞くが地域での訓練のため、仕事をしていけば参加はできないと思う。会社等に年に一度避難訓練の実施をうながすなどした方が良いと思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	道路等の工事は進んでいるが、防災という面ではまだまだ進んでいないと思う。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	男	防波堤は日々高さや長さを増してきていると車を運転する度に実感する。道路整備も私の住んでいる所では、近隣市町村を含め自動車専用道の工事が至る所で始まりました。隣村ではバイパス道路が完成し、交通の便が非常に良くなった一方、商店街や中心地は交通量が激減し、経済面でマイナスになり村全体が今後、活気が無くなるのでは…と不安です。
どちらとも いえない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	津波のみでなく、がけくずれ等起こるのではと思われる場所が多々あります。安全に生活できるか、達成するのはまだまだ先だと感じます。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	まだ防潮堤は完全に復旧していないが、建設にむけての説明会なども行われており、「これから本格的になる」という気がする。また、代替道路の三陸沿岸道路も工事が進んでいるのが目に見えるので、災害に強いまちづくりが少しずつだが進んでいると思う。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	女	津波などの災害に備えた基盤整備の実施にむけた詳細の設計・計画が進んできている。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	男	既存の防潮堤の復旧は終わったものの、新たに築造する堤防や避難路、移転地の造成は工事途中であり、完成が見えてこなければ進んできたとは思われない。
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤工事が進んできた（野田）
どちらとも いえない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	現在、急ピッチで工事が行われている状況だが、特にも防潮堤の形が目に見えてこない、まだまだ不安な点が多い。
あまり 達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	10月だったろうか、津波注意報が出されたときがある。 当地域は公民館は311で被災し、無くなった。そのため、避難場所となる建物がなく、近くの高台に避難し、屋外ですごすことになる。 避難場所となる施設が早期に求められる。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の工事も高台の工事も全然手がついていない。他の地域では始まっている所もあるようだが。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	安心して生活が出来る、防潮堤の工事が進みません。工事の促進をお願いします。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤などは大がかりな工事のため、目に見えての進み具合は感じない。 最近、また、地震がよくあるため、もし、この状態で津波が来たらと思うと、恐い気がする。
あまり 達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	事業計画の説明、地域との合意はして、事業発注はしてあるが、目に見える災害に強いものはできていない。また、地区内の県工事で市工事の連携がかみ合っていないような感じがする。

あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸北部	男	防潮堤は手つかずの状態。毎日海に出て漁をする仕事で様子は良く判る。工事の進み具合が遅い、予算は使っている割に工事が前に進んでいない。台風により仮設市場も被害に合う始末では、漁村もなかなか元気が出てこない。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸北部	男	防潮堤の工事の進み具合が目に見えて進んでいない。しかし、一生懸命働いている工事関係者の方々を見るたび、とてもありがたいと思います。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	避難路の整備が不十分であるため。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	相変わらず防潮堤は計画が見えない。海岸の外灯すらつかない。作業時、避難時は大変。また、海岸のかさ上げ作業を3～4名で工事してるが、進まない。どうにかならないものか。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	50歳台	沿岸南部	男	復旧は見えて来たが、安全なまちづくりは全く進んでいない。防潮堤の整備は進んでいない。避難方策については全く示されていない。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	災害時はやはり通信網の整備が重要。様々な訓練をすべき（災害メール等）。それによって、住民の意識の低下を防ぐことができると思う。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	たくさんの重機が、がれきの山を作り、土を盛り、景色が変わってきているのを感じる。しかし、防潮堤14.5mに関して反対意見があったり、盛土工事がなかなか進まなかったり、思うようには進まないのが実体である。14.5mの防潮堤については、海に生きる人なら反対意見も多いのではないか。海を見て生活したいから。高台への避難路を整備すべき。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	9月に予定されていた村の総合防災訓練もなくなり、安全なまちづくりをしているとは言えなくなりました。災害はいつやってくるかわからないので早く安心・安全なまちづくりができることを強く願います。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	震災前に比べてどのような状態に整備されるのか、避難方策がどのようになるのか、情報がどこから得られるのか知りたいと感じています。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	工事が始まったばかりであり、形が見えないので、まだ実感できない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸北部	女	防波堤の工事が始まったばかりで、まだまだ、不安です。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸北部	男	防潮堤の工事が目に見えて進んでいる。最近、防潮堤の建設に疑問を持っている声を聞いた。同じ規模の津波が来た時、すみやかに避難できるように、住民への周知・訓練が必要。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤や河川の整備は進んでいるように見えるが、地域防災という観点からの議論はあるがそれがいつ実行されるのか、残念ながら目に見える形での動きはない。あの災害も時間とともに遠い過去のものになった感がする。自分自身も含めて、あの災害が忘れ去られないよう努力したい。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	堤防の修繕やかさ上げ等が見られるようになってきた。しかし、安全とはほど遠いものである。また、トラックが増え、事故も増加している。信号機の設置等もすすめるべきと思う。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の再建工事は行われてきていますが、どの程度進んでいるのかはつきりわからない。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	やっと防潮堤の整備工事が始まったという程度。

達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	県による防潮堤整備の遅れ。いくらかさ上げしても、防潮堤整備が進まなければ安全とはいえない。防潮堤が完成しても十分とはいえないが…。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	特に何も変わっていない。工事着工のニュースを聞いても、完成に近づかないと実感できないと思う。
達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	男	防潮堤の完成がまだなので。防潮堤の一部を強化した場合、他の地域ではその反動でより強い津波が来ることはないのでしょうか。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の再建が全く進んでいない様な気がします。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	平成24年8月の調査への回答と内容や状況に変化がありません。防潮堤第2線堤の復旧工事が始まったばかりです。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	市として復興計画のもとに各事業が進められているが、現在の当市の復興計画（災害に強い町づくり等）は行政主導のまちづくり。震災当時は、被災者にまちづくり等の相談をされても、自身の身の上の心配で、そうした問題等を考える心の余裕がなかったが、ここ2年7ヶ月過ぎて、心身とも考える余裕でき、今になってさまざまな事を考えられるようになり、市の復興計画に対して意見が多く出されるようになってきている。したがって、まちづくりについても、市民ニーズを汲み取り、反映して行ってほしい。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	ガレキが取りのぞかれた風景はすぐに海が見え、高潮でさえしん水するおそれがあり、2mくらいの津波がきても危険な感じがする。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	陸前高田市、高田松原跡地に防潮堤・高さ12.5mとなっておりますが、市の方からの説明や設置場所も不明です。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	女	防潮堤もようやく手がついたというところですし、まちづくりも、まだ土地のかさ上げがはじまったところがある、という程度なので、達成と言うにはまだ遠いという感じがします。私の家は、釜石の鶴住居町というところにありましたが、まだまだです。土地区画整理事業の地区ですが、まだ買い上げの金額もはっきりと示されておられません。
達成していない	地域団体・郵便局関連	50歳台	沿岸南部	男	仮設住宅が浸水地より高い所に建っている点では安全といえなくもないが、防潮堤の再建は一部で手がついた、つき始めた程度。図面上では安全な町づくりは進んでいるが、現実的には、いったい、いつになったら実現するのか？という状態。
達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	女	魚市場が落成し、漁業の町として一歩前進の感があります。漁業の方々の強い意気込みが感じられます。住宅地は、地質調査が終わりつつある様です。嵩上げ工事も早急にやってほしいと願っております。これは町民皆さんの声です。
達成していない	地域団体・郵便局関連	40歳台	沿岸南部	男	人命よりもシミュレーションを優先してまちづくりが進んでいる。過去に何度も津波被害を受けていながら、また同じあやまちをおこしている。もう二度と悲しい思いをする人をつくらない為に検証をしっかりとて、まちづくりをしていかなければならない。想定外でした…では済まされない。ニューヨークタイムズで紹介された大船渡市吉浜地域。先人の教えを守らなければならないと思う。防潮堤や防波堤で生命や財産を守るという考え方もあるが、自然の防潮堤や防波堤も利用し、地形に沿ったまちづくりが必要。例えば宮城の松島。天然のテトラポットで津波を減すいさせた。

達成していない	地域団体・郵便局関連	60歳以上	沿岸南部	男	町方地区では盛土工事が始まりましたが、家が建てられるのは平成29年の予定です。防潮堤工事も予定より2年遅れますし、高台移転等進んでいないので復興はまだまだ先になると思われます。
達成していない	産業・経済・雇用関連	39歳以下	沿岸南部	男	防潮堤の整備は進んでいない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	60歳以上	沿岸南部	女	現在、漁港工事では岸壁のかさあげ工事中（船の出漁をしやすいするため）で、防潮堤の整備の方はまだ工事しておりません。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤がまだない仮堤防のままなのと、住民の意識がうすれているので、安全に対して心配している。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	女	町の事業(防潮堤工事)はいつから始まるのか、住民は全く分かっていない。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	街づくり計画の進み具合はまだまだハード面が始まったばかり（ほんの一部）であるが、そこで、ソフト面だけでも災害対策が充実して来たかと考えれば、やはり、まだまだと言わざるを得ない状態である（どうしてもハードが最低限復旧した上でのソフト面であると思うので、大規模災害が今起こらなければよいが！？と祈るばかりである）。
達成していない	産業・経済・雇用関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤が壊れたまま。また、交通量が増えているが、街灯がなく暗いため危険。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	女	港湾防波堤などの建設が始まっているが、ほぼ何もない状況なので、津波がいつやってくるか分からない中、不安を感じる。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸南部	女	港湾の工事が始まった。
達成していない	教育・福祉施設関連	40歳台	沿岸南部	男	防潮堤の整備が全く進んでいないように見える。また、海近辺から高台に向けての避難路の計画はあるものの、着工されていない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	進んでいません。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸北部	女	防潮堤の整備がまだ。
達成していない	教育・福祉施設関連	50歳台	沿岸北部	女	防潮堤や盛土の工事（整備）が進んできたのが目に見えてきている。
達成していない	地域団体・郵便局関連	39歳以下	沿岸南部	男	防波堤の問題についてだけでも、右往左往している。行政には期待できない、と思う。
達成していない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	壊れた防波堤はそのままの状態でのままの状態で放置されているだけの様に思います。
わからない	教育・福祉施設関連	39歳以下	沿岸南部	女	最近、あまりニュースなどでもとりあげなくなっている。高台の仮設にうつり、ここ3ヶ月は町の方に行っていないため、工事などがどこまですすんでいるか見ていないので分からない。

【自由記載集：掲載にあたって】

- ①回答者ご本人のご了解をいただいたもののみを掲載しています。
- ②自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正、企業・団体・個人名の置換え等しています。)

平成25年第4回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

平成25年12月25日
岩手県 復興局 総務企画課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945